



発行所 育英会 北海道漁業協同組合連合会  
東京都千代田区内神田 2丁目2番1号  
電話 03(254)7543  
印刷 印刷連合印刷センター  
電話 03(582)8541



### 社会人二年生

北海道礼文町船泊漁協勤務

山本美栄子

月日がたつのは早いもので、父が死んでからもう四年たちます。父がいな... (transcription of the main article text)

父はいつも何か遠くを見ていたよう... (transcription of the main article text)

### 組織的な事故防止を (5)

先日、農業関係の資料をみていま... (transcription of the article text)

りますが、技術発展そのものを考... (transcription of the article text)

### 父の存在

高知県清水高校

三年 和田明人

野球の練習を終え学校から帰って... (transcription of the article text)

ましか、あの頑強なおやじが... (transcription of the article text)

今の父の墓に埋められているのは... (transcription of the article text)



室戸市室戸中学校

一年 吉岡清美

私の父は、私が生まれる前に、船で... (transcription of the article text)

小さい時は、父の死というものが全... (transcription of the article text)

### お母さんからの便り

梅雨に入りましてむし暑い毎日... (transcription of the letter text)

吉良壱岐子さんから

漁船が海難し救助や捜索が必要な場... (transcription of the letter text)



### 一隅を照らす燈火に

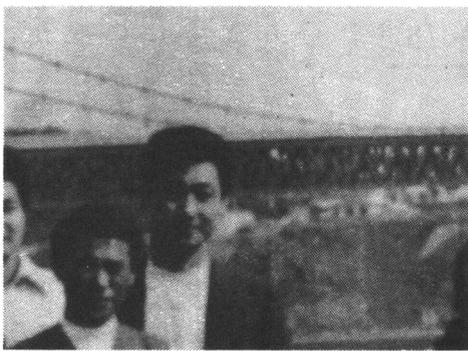
京都府漁連総務部長 杉村秀夫

漁船が海難し救助や捜索が必要な場... (transcription of the main article text)

都道府県別奨学生数

(昭和53年6月末現在)

県名	学資給与奨学生			奨学金貸与高校生	合計	昭和53年度第1回新規採用者			
	小学生	中学生	計			小学生	中学生	(貸与)高校生	計
北海道	134	185	319	56	375	14	2	25	41
青森	76	100	176	43	219	3	1	11	15
岩手	64	83	147	38	185	5	-	11	16
宮城	45	78	123	17	140	5	2	6	13
秋田	3	6	9	-	9	1	1	-	2
山形	18	29	47	15	62	3	-	4	7
福島	33	36	69	15	84	5	1	7	13
茨城	9	14	23	5	28	-	1	3	4
千葉	34	18	52	3	55	3	-	-	3
東京都	3	6	9	1	10	-	-	1	1
神奈川県	5	7	12	6	18	-	-	3	3
新潟	21	27	48	5	53	3	-	2	5
富山	10	11	21	7	28	-	-	2	2
石川	18	20	38	10	48	5	1	2	8
福井	6	6	12	3	15	3	1	3	7
静岡	6	25	31	13	44	-	-	4	4
愛知	10	10	20	6	26	-	-	3	3
三重	15	20	35	16	51	4	1	3	8
京都	-	1	1	2	3	-	-	-	-
大阪	6	3	9	-	9	1	-	-	1
兵庫県	15	20	35	14	49	4	1	4	9
和歌山	17	13	30	4	34	3	1	1	5
鳥取	21	15	36	6	42	5	-	1	6
島根	19	19	38	6	44	1	-	-	1
岡山	9	4	13	1	14	2	1	-	3
広島	3	3	6	6	12	2	-	3	5
山口	36	42	78	19	97	3	2	5	10
香川	11	13	24	10	34	3	1	2	6
徳島	7	16	23	9	32	1	1	-	2
愛媛	16	17	33	12	45	2	-	4	6
高知	27	32	59	6	65	3	-	1	4
福岡	15	23	38	2	40	4	-	1	5
福岡県有明海	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県有明海	10	6	16	1	17	-	-	1	1
佐賀県有明海	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	87	110	197	28	225	6	2	6	14
大分	10	14	24	3	27	2	-	-	2
熊本	5	7	12	5	17	-	1	2	3
宮崎	16	17	33	9	42	3	1	5	9
鹿児島	27	23	50	14	64	3	3	3	9
沖縄	1	1	2	-	2	-	-	-	-
合計	868	1,080	1,948	416	2,364	102	25	129	256



右端、又野君(長崎県長与町出身)

奨学生の皆さん元気でですか

又野 幸男

幼いころから海が好きだった私は、将来はきっと海に生きようと決心し、中学を終えると長崎県立水産高等学校漁業科に入学しました。

十一日、東シナ海において)が大きな原因となりました。あの強かった父が一瞬のことで死ぬなんて、私にはとても信じられませんでした。悲しみに打ち負けそうになった時、きびしかった父の面影が目に浮び、当時続いていたラグビーにより打ち込むことで、精神的に立ち直るよう努めました。

高校卒業後は、入学時の志望と少し違いますが、それでも水産関連産業の職場に就職し、社会人としての第一歩をふみだしました。職場ではよい仲間や上司に恵まれ、私も張り切っており、とかく安易な気持ちになりがちだった学生時代ではあったが、これからは社会人として責任ある態度で何事にも対処していかなければならないと思っております。

全国的奨学生の皆さん、すぐ夏休みですね。おおいに体をきたえ立派な人になって下さい。お互い頑張りましょう。

目一三 福岡市中央区那ノ津二丁目 林兼産業キリシマハム 事業部勤務

この「卒業生通信」は、本号から常設し、本会から卒業生への連絡、また、卒業生から本会への問合わせに関する一般的な回答を掲載してまいります。

卒業奨学生の中から、後輩奨学生を励まし、また、社会へ出てからもお互いの動静をしり合い励まし合っ て行こう、という自然発生的な動きが出てきました。この動きは、是非みのらせたいたいものと願っております。

「育英会だより」も、こうした先輩、後輩の励まし合いのきずなの一つとして育ててまいります。

高校奨学生に対する奨学金貸与制度が昭和四十九年度に発足し、五十二年三月には、一七二人の第一回生が卒業され、本年三月は第二回生一六九人が、社会にまた大学等へ、就職、進学されました。

第一回卒業生で就職された方は、

卒業生通信

系統通信

一年の据置期間もすぎ、本年から貸与金の返還が始まります。この返還金は、次の後輩奨学生に再び奨学金として貸与され、循環して行く原資となります。

奨学金貸与が卒業により完了しました。半年以内に「奨学金借用証書」(奨学金返還計画-借用証書の裏面)を提出していただきます。本年三月高校卒業生で、この借用証書をまだ提出されていない方は、急ぎ提出して下さい。

六月十四日夕方、第一回生の又野幸男さん(林兼産業キリシマハム事業所勤務)から返還金のこと電話がありました。「元気で、毎日いそがしくやっております」と、本当に明るい声でした。頑張ってください。

卒業生の皆さん、どうぞ近況を四〇〇字原稿用紙二、三枚程度にまとめて、育英会へ送ってください。その際できるだけお写真を一葉お送り下さい。家を離れ活躍されている方は、特に御家族や地元の皆さんも喜んで下さると思います。

本年度第一回の奨学生願書の出願につきましては、特別の御配慮に預かり有難うございました。六月六日奨学生選考委員会の議を経て、全員採用が決定しました。

本年四月一日から、学資給与規程及び奨学金貸与規程が次のように改定されました。

一、学資給与規程 第四条(記念品の贈呈) 第三項記念品の額は、二、〇〇〇円とする。を、記念品の額は、五、〇〇〇円とする。

二、奨学金貸与規程 第三条(奨学金の貸与) 第二項奨学金の貸与月額は三、〇〇〇円とする。を、奨学金の貸与月額は五、〇〇〇円とする。

ただし、理事長が適当と認めるものについては、七、〇〇〇円とする。

このほか、奨学金を繰上返還した者に対し交付する報奨金の根拠を、奨学金貸与規程 第一七条(奨学金の返還) 第二項に追加しました。

なお、前記七、〇〇〇円の貸与に關しては、本年度事務担当者会議の際、具体的な討議をいたたく予定にしております。

- 〇漁協系統募金 四、六月 九七七、五〇〇円
  - 〇一般寄附金 四、六月 七、六二九、九六三円
  - 合計 八、六〇七、四六三円
- ※御芳名(敬称略)
- 一、漁協系統募金(系統扱い一般寄附金を含む)
  - 〔四月〕▽高知県(県連又は地方協議会略、以下同じ)
  - 〔五月〕▽東京都(都信漁連業務課長 後藤幸一氏子息香典返)▽京都府(前府漁連会長白須市治)▽和歌山県(県水城北村勝美氏姉香典返)▽鳥取県(やまこ建設KK三〇周年記念、県漁連金岡紀文氏歳父香典返)
  - 〔六月〕▽京都府▽高知県(高知市・庄境邦雄)▽気仙沼漁協▽静岡県(焼津市・塩谷吉隆・塩谷仁美)
  - 二、一般寄附
  - 〔四月〕▽株式会社極洋▽北海道漁業公社▽全国漁業協同組合学校第三八期生一同▽東京築地中央市場福祉報徳会▽水産庁開洋丸乗組員
  - 〔五月〕▽佐藤幹児(海洋画家)▽松島湾観光汽船KK・はくつる丸乗組員一同、全日海径由)▽本間水産KK 第一五漁連丸乗組員一同(北転船第二次減船対象船、全日海径由)▽三崎船員組合▽石巻地区漁船労働組合
  - ▽佐久間保二▽全国漁船労働組合同盟(以上四件漁船同盟径由)
  - 〔六月〕▽佐藤甚一郎(塩釜市・佐藤漁業部KK社長・北転船減船対象・全日海径由)▽松島湾観光汽船KK・はくつる丸従業員(全日海径由)
  - ▽越智末喜(愛媛県・全日海径由)
  - ▽海技大学校学生自治会(第二二回慈善ダンスパーティ収益金)▽叶幸恵(広島市・中国地方海運組合連合会専務理事叶忠氏香典返)▽日新汽船KK 第二十条丸乗組員一同(以上二件全日海径由)▽大島みぎわ

全国の仲間たち

昭和五十三年度第一回新規採用者は上表右欄のとおり学資給与奨学生は小学生一〇二人、中学生二五人及び奨学金貸与高校生二二九人、合計二五六人でした。

これによって、六月末の総奨学生数は二、三六四人になります。

本年度小学校一年生になられた仲間は六五人でした。これまで二千人であった入学祝金を本年から五千円に増額し贈呈しました。

また、一部地方を除き全国的な授業料の引上げに伴い、高校生に対する奨学金も三千円を五千円に増額できましたので、少しは御希望におこたえてきたと思います。なお、送金は、六月十日から十五日にいたしました。

昭和五十三年四月から六月までに、御協力いただきました漁協系統募金及び一般寄附金は、次のとおりです。ここに、御芳名を掲げ厚く御礼申し上げます。

第二回願書締切りは 七月三十一日です

「募金・寄附金」お礼